

科目名	史学A	JABEE科目	科目コード 040
-----	-----	---------	--------------

学年・学科等名	4・5 学年	全学科	選択科目
単位数・開講期	1 単位	前期	
総時間数	45 時間	講義＋教室内自学自習 30 + 自学自習 15	
担当教員	平野 友彦		

本校の教育目標	1	一般人文科の教育目標	3
---------	---	------------	---

JABEE関連	教育プログラム科目区分	104一般基礎科目人文系
	教育プログラムの学習・教育目標	B-1(80%) B-2(20%)
	JABEE基準	a

教科書名	使用せず
補助教材	プリント、図録等
参考書	『北海道古地図集成』（高倉新一郎編、北海道出版企画センター）、『蝦夷地図抄』（成田修一編、沙羅書房）、『日本地図史』（秋岡武次郎著、ミュージアム図書）、『地図の歴史』（日本編）・（世界編）（織田武雄著、講談社）、『北方図の歴史』（船越昭生著、講談社）、『西欧人が描いた日本地図』（OAG・ドイツ東洋文化研究協会）

A. 教育目標

日本列島及び北海道の歴史を地球的視点に立って理解するとともに、旭川市がある上川地域の歴史風土に触れることで、地域の特性を理解することを目標とする。

B. 概要

明治以前に、日本人や外国人が描いた日本列島及び北海道の古地図を取り上げ、彼らが北海道及び上川地域をどのように認識していたかを検討し、北海道および上川地域の歴史風土の一端を理解する。

C. 学習上の留意点

北海道史についての概説書を一冊でも読んでおくことが望ましい。特にテキストは用いないので講義をきちんと聴き、ノートをしっかり取ること。試験は、中間・期末の2度行い、ノートやプリントから出題する。レポート課題はよく調べ、参考図書を明記して提出すること。

D. 評価方法

試験(90%)、レポート課題等(10%)

E. 授業内容

授業項目	時間	内 容	教育プログラム
はじめに (1)古地図利用の意義 (2)北海道をめぐる国際関係	2	歴史研究における古地図利用の現状を知ることができる 前近代の北海道が日本だけでなく、海外諸地域とも盛んに交流していたことの一部を知ることができる	B-1 B-2
1.考古学から見た北海道	2	北海道先住民族の歴史の概要を知ることができる	B-1 B-2
2.古代・中世の古地図 (1)古代・中世の世界図	2	古代・中世の日本人の世界観が理解できる	B-1 B-2
(2)行基図と北海道	2	行基図に描かれた日本、北海道の特徴が理解できる	

授業項目	時間	内 容	教育プログラム
3.16・17 世紀の古地図 (1)ヨーロッパ人作成の日本図	2	ヨーロッパにおける日本情報の流布状況が理解できる	B-1 B-2
(2)日本人作成の日本図	2	ヨーロッパ人との交流によって日本図が進歩した事実を知ることができる	
(3)日本図の中の北海道	2	当該期の日本図の中で北海道はどのように描かれているかを知り、その歴史的背景について理解することができる	
(前期中間試験)			
4.18 世紀前半までの北海道図 (1)幕府・松前藩の北海道図	1	松前藩の幕府提出北海道図の特徴を知ることができる	B-1 B-2
(2)民間で描かれた北海道図	1	民間作成の北海道図から民間での北海道観の特徴を知ることができる	
(3)ヨーロッパ人作成の北海道図	2	初めてヨーロッパ人が描いた北海道図の特徴から当時のヨーロッパ人の北海道観を知ることができる	
5.18 世紀後半以降の北海道図 (1)ヨーロッパ人による実地調査と北海道図への影響	2	世界地理調査の一環としてヨーロッパ人が北海道周辺に来航するが、その経過と北海道図への影響を理解することができる	B-1 B-2
(2)蝦夷地政策と北海道図	2	対外緊張の高まりが北海道図の精度を増すことを理解することができる	
6.北海道図の中の上川地域 (1)上川地域の描写から見た上川地域の認識の推移	2	北海道図の内陸部描写の特徴から、前近代において和人が上川地域をどのように認識していたかを理解することができる	B-1
(2)近藤重蔵の上川踏査	2	上川地域を実地踏査した幕府役人近藤重蔵の足跡と、それを踏まえて彼が唱えた上川を中心とした北海道経営論について知ることができる	
7.旭川村の登場と地名の由来	3	旭川村出現の背景とその地名の由来を知ることができる	B-1
(前期末試験)			
◆自学自習 ・レポート等の課題 ・定期試験の準備	15	自学自習時間は、理解を深めるためのレポート課題、および試験準備のための勉強時間を総合したもの	

F. 関連科目
社会、歴史、地理